

入 札 公 告 (個 別 事 項)

公共 社会資本整備総合交付金事業(防災・安全) 木曽川幹線K35 - K36 管更生工事 に関する一般競争入札公告

公共 社会資本整備総合交付金事業(防災・安全) 木曽川幹線K35 - K36 管更生工事について、一般競争入札を行うので、岐阜県会計規則(昭和32年岐阜県規則第19号。以下「規則」という。)第127条の規定により公告します。

入札公告は、「第1号様式 入札公告共通事項」及び本書より成るものとします。なお、「第1号様式 入札公告共通事項」は岐阜県ホームページに提示しています。

なお、この入札は電子入札システムにより執行しますが、商号又は名称、住所、代表者を変更した後に、ICカードの変更手続きをしていない方は、紙入札での参加をお願いします。そのまま、ICカードを使用されますと、入札が無効となる場合や、入札参加資格停止措置となる場合があります。

令和3年7月26日

岐阜県流域浄水事務所長 酒井 友幸

1 一般競争入札に付する工事

- (1) 工事番号 第401 - C - 032号
工事名 公共 社会資本整備総合交付金事業(防災・安全) 木曽川幹線K35 - K36 管更生工事
(電子入札対象案件)
- (2) 工事場所 各務原市 鷺沼小伊木町 地内
- (3) 工事概要 木曽川幹線 K35-K36 管路延長 L=22.38m
管更生工事 管更生延長 L=20.03
仮設工 下水道光ファイバーケーブル切回し工 1式
K35人孔内足場工 1式
- (4) 工期 令和3年8月27日 から 令和4年3月4日 まで
- (5) 予定価格 58,454,000 円 (消費税及び地方消費税を含む)
- (6) 低入札価格調査制度 有
- (7) 最低制限価格制度 無
- (8) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化の実施が義務付けられた工事です。
- (9) 本工事は、電子入札システムを用いて行います。なお、電子入札システムによりがたいものは、事前に発注機関の長の承諾を得た場合に限り書面で提出することができます。
- (10) 本工事は、技術資料の提案を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式(簡易型)の工事です。
- (11) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を変更設計時に行う対象工事です。
- (12) 本工事は、週休2日制モデル工事です。詳細は「岐阜県発注の週休2日制モデル工事施行要領」を参照してください。
- (13) 本工事は、担い手確保のための建設現場環境改善モデル工事です。実施する場合は、工事着手前に発注者へ申し入れを行うこととします。詳細は「岐阜県県土整備部及び都市建築部(公共建築課を除く)発注の建設現場環境改善モデル工事実施要領」を参照してください。
- (14) 本工事は、建設業における人材の確保・育成や職場環境改善等の支援を目的とする人材育成型総合評価落札方式の試行工事です。
- (15) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象費」という)について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合には、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終変更時点で設計変更できるものとする。
- 営繕費 : 労働者送迎費、宿泊費、借上費
(宿泊費、借上費については、労働者確保に係るものに限る)
- 労務管理費 : 募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)

2 入札参加資格

本工事の入札に参加する者に必要な資格は、次のとおりです。

(1) 単体で本工事の入札に参加する者に必要な資格は、次のとおりです。

必要な建設業の許可	
特定・一般（土木工事業）	
岐阜県建設工事入札参加資格者名簿登録業種・総合点数	
土木工事業・総合点数930点以上	
施工実績に関する条件	
<p>平成18年度以降申請期限日までに、元請けとして、以下に示す工事を施工した実績を有すること。（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が40%以上のものに限る。）</p> <p>ただし、当該実績が国及び岐阜県が発注した工事にあつては、工事成績評定の評定点が65点未満であるものを除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設業法で規定する土木一式工事で、完成引き渡しの済んでいる工事費3,000万円以上の施工実績 	
配置技術者に関する条件	
<p>本工事に従事する主任技術者、監理技術者又は特例監理技術者は、次の基準（ア及びイ）を満たし、かつ、本工事の契約工期の始まり時点において配置できる者であること。ただし、本工事の現場施工に着手する日（令和3年9月27日）には、主任技術者及び監理技術者にあつては専任で配置できる者であることとし、特例監理技術者を配置する場合にあつては、監理技術者補佐を専任で配置すること。</p> <p>ア 技術士（建設部門）、又は1級土木施工管理技士又は2級土木施工管理技士（種別：土木）、もしくはそれと同等以上の資格を有する者であること。</p> <p>イ 平成18年度以降申請期限日までに、完成引き渡しの済んでいる建設業法で規定する土木一式工事において、元請け人として工事費が1,800万円以上の主任技術者、監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐若しくは現場代理人として従事した実績を有する者であること。</p> <p>ただし、低入価格調査制度における低入調査基準価格を下回る金額で契約を締結した場合において、建設業法に規定された主任技術者、監理技術者、特例監理技術者又は監理技術者補とは別に追加を義務付けられた技術者としての従事実績は除く（共同企業体の構成員として主任技術者、監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐若しくは現場代理人として従事した実績は、出資比率40%以上のものに限る。）。</p> <p>ただし、次の～のいずれかに該当する場合は専任を求めないものとする。</p> <p>請負代金の金額が1千万円未満の工事</p> <p>請負代金の金額が1千万円以上3千5百万円未満の工事であっても、令和2、平成31年度における岐阜県発注工事の当該工種（土木一式）に係わる工事成績評定の平均が75点以上（令和2、平成31年度における岐阜県発注工事の当該工種（土木一式）に係わる受注実績がない場合は、平成30、平成29年度における岐阜県発注工事の当該工種（土木一式）に係わる工事成績表定点の平均が75点以上）である有資格業者が受注した工事</p> <p>請負代金の金額が1千万円以上3千5百万円未満の工事である総合評価落札方式工事</p>	
監理技術者に関する条件	
本工事は、特例監理技術者の配置を認める工事である。	
事業所の所在地に関する条件	
流域浄水事務所管内（岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御高町）に、岐阜県建設工事入札参加資格者名簿に登録されている本店が所在すること。	
設計業務等の受託者等	
対象工事に係る設計業務等の受託者は、次に掲げる者です。 (株)日本インシーク	
その他の条件	
「第1号様式 入札公告共通事項」の「1 入札参加資格に関する事項」に示すとおりとする。	

3 担当課

区分	担当課	電話番号	住所
入札担当課	岐阜県流域浄水事務所 総務課 管理調整係	058-386-8338 (内線122)	〒504-0923 岐阜県各務原市前渡西町1521
工事担当課	岐阜県流域浄水事務所 建設課 建設係	058-386-8338 (内線123)	各務原浄化センター 管理本館 2F

4 入札日程

手続等	期間・期日	方法・場所
設計図書の閲覧	令和3年7月26日(月) 午前9時から 令和3年8月17日(火) 午後4時まで	電子入札システム等よりダウンロード 併せて入札担当課(又は工事担当課)による閲覧
質問書の受付	令和3年7月26日(月) 午前9時から 令和3年8月9日(月) 午後4時まで	電子入札システムによる 紙入札者は、工事担当課まで持参

回答書の閲覧	各質問受付から5日以内 午前9時から 令和3年8月17日(火) 午後4時まで	電子入札システムによる 併せて工事担当課による閲覧
申請書の提出	令和3年7月26日(月) 午前9時から 令和3年8月2日(月) 午後4時まで	電子入札システムによる 紙入札者は、入札担当課まで持参
入札参加通知書の通知	令和3年8月5日(木) まで	電子入札システムによる
入札書提出受付	令和3年8月16日(月) 午前9時から 令和3年8月17日(火) 午後4時まで	電子入札システムによる
開札	令和3年8月18日(水) 午前10時から	電子入札システムによる 岐阜県流域浄水事務所 事務室
確認資料の提出 (落札候補者のみ)	令和3年8月19日(木) 午前9時から 令和3年8月20日(金) 午後4時まで (ただし、別途提出の指示をした場合はこの限りではない)	工事担当課まで持参
苦情申立て	入札参加資格通知書又は入札参加資格不適格通知書の通知日から起算して7日以内 (県の休日を含まない。)	入札担当課まで持参 書面(様式は自由)
苦情申立てに対する回答	苦情申立てができる最終日の翌日から起算して原則として10日以内(県の休日を含まない。)	書面による回答
入札結果の公表	落札決定した日	入札情報サービス又は県ホームページによる 併せて入札担当課による閲覧

紙入札の場合は、持参を認めますが、郵送又は電送によるものは受け付けません。(期日・期間は同じ)
注) 提出書類については、「第1号様式 入札公告共通事項」に記載しています。

5 総合評価落札方式に関する事項

(1) 総合評価落札方式の仕組み

本工事の総合評価落札方式は以下の方法により落札者を決定する方式とします。

入札参加資格を満たしている場合に、標準点100点を付与します。

技術資料で示された実績等により最大21.5点の加算点を与えます。

得られた標準点と加算点の合計を当該入札者の入札価格で除した算出した値(以下「評価値」という。)を用いて落札者を決定する方法です。

その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、別添「総合評価方式の内容」において明記しています。

(2) 評価項目

評価項目：以下に示す項目を評価項目とします。

- (ア) 施工能力に関する事項
- (イ) 企業能力に関する事項
- (ウ) 技術者の能力に関する事項
- (エ) 地域要件に関する事項

6 特記事項

(1) 熱中症対策に資する現場管理費の補正

1 本工事は、工事期間中(準備、後片付け期間を含む)における真夏日の日数を基に、設計変更時に現場管理費を補正する試行対象工事である。

2 用語の定義

ア 真夏日 日最高気温が30度以上の日をいう。

イ 工事期間 準備、片付け期間を含めた工事期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事中止期間は含まない。

ウ 真夏日率 以下の式により算出された率をいう。

$$\text{真夏日率} = \frac{\text{工事期間の真夏日}}{\text{工事期間}}$$

3 受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督員へ提出する。

4 気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温を用いることを標準とするが、環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることもできることとする。なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが25度以上となる日を真夏日と見なす。但し、これにより難しい場合は、施工現場を代表する1地点で気象庁の観測方法に準拠した方法により得られた観測結果を用いることも可とする。なお、計測に要する費用は受注者の負担とする。

5 受注者は、監督員へ計測結果の資料を提出するものとする。

6 発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工事期間中の日最高気温から真夏日率を算定した上で熱中症対策補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

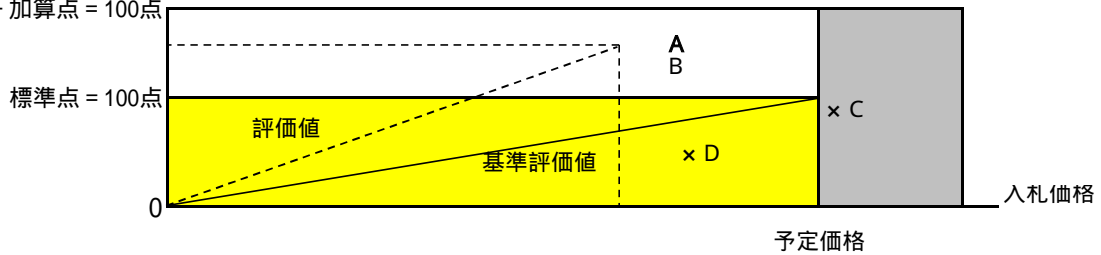
$$\text{熱中症対策補正値(\%)} = \text{真夏日率} \times \text{補正係数} \quad \text{補正係数: 1.2}$$

別添 総合評価落札方式の内容

1 総合評価落札方式の仕組み

総合評価落札方式の仕組みを以下に示す。

標準点 + 加算点 = 100点



- A : 落札者
- B : 非落札者 (基準評価値を上回るが評価値(グラフの傾き)がAより低い)
- C : 非落札者 (予定価格を超過) ×
- D : 非落札者 (基準評価値を下回る) ×

落札者の決定方法

以下の条件を満たすこと。

- a. 入札価格 予定価格
 - b. 最低限の要求要件(標準案の条件)を満たすこと。(標準点以上)
 - c. 評価値 基準評価値 (a及びbを満たせば自動的にcは満たされる。)
- 落札条件を満たす者が2者以上いる場合は、評価値の最大の者を落札者とする。さらに、その評価値も同じ場合には、くじ引きにより落札者を決定する。

2 評価項目及び評価指標

- 評価項目： (ア) 施工能力に関する事項
 (イ) 企業能力に関する事項
 (ウ) 配置予定技術者の能力に関する事項
 (エ) 地域要件に関する事項

- 評価指標： (ア) 安全対策、主要資材、環境配慮により評価
 (イ) 工事成績評定点、同種・類似工事施工実績、スタッフ数、優良工事施工者表彰歴、機械保有状況(土木工事等に適用)により評価
 (ウ) 同種・類似工事施工経験、保有資格、継続教育により評価
 (エ) 営業拠点、災害協定参加等、ボランティア活動、近隣地域施工実績、除雪業務等実績(土木工事等(法面工事を除く)に適用)、応急危険度判定士の登録者数(建築工事に適用)、製作拠点(鋼構造物工事、PC上部工工事に適用)、休日及び夜間の道路維持作業の実績(土木工事等(法面工事を除く)に適用)、休日及び夜間の河川・砂防の維持作業の実績(土木工事等(法面工事を除く)に適用)、新分野活動、県内企業の活用率により評価

3 標準点及び加算点

標準点：標準案の条件を満たしていれば、標準点として100点を付与する。

加算点：評価基準に応じて付与する点数とする。

4 加算点の付与

入札参加者に対する加算点付与の考え方は下表のとおりである。

小項目	評価項目	標準	選択	簡易型
				人材育成型
施工能力	工程管理			
	安全対策	-		-
	主要資材			-
	品質管理			
	環境配慮			1.0
	技術所見			-
企業能力	工事成績評定点			2.0
	施工実績			1.0
	スタッフ数			1.5
	優良工事施工者表彰			1.0
	機械保有状況			-
	人材育成の取組			2.0
能技術者	施工実績			1.0
	保有資格			1.5
	継続教育			0.5
地域要件	営業拠点			1.0
	災害協定参加等			2.0
	ボランティア活動			1.0
	近隣地域施工実績			1.0
	除雪業務等実績			2.0
	休日及び夜間の道路維持作業実績			1.0
	休日及び夜間の河川・砂防維持作業の実績			0.5
	新分野活動			-
	県内企業の活用率			1.5
計				21.5

施工能力について

評価項目	評価内容	評価基準	評価点
工程管理			
安全対策	事故等の防止の喚起と客観的指標で安全対策の実施可能性を評価	過去に労働安全衛生分野表彰歴があり、かつ直近1か年度以内に県からの工事事故による入札参加資格停止措置なし	-
		<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣・岐阜労働局長表彰 厚生労働省労働基準局長が行う建設事業無災害表彰（岐阜県内工事に限る） 厚生労働省労働基準局長が発行した無災害記録証 	-
		過去に労働安全衛生分野表彰歴なし、かつ直近1か年度以内に県からの工事事故等による入札参加資格停止措置なし、若しくは過去に労働安全衛生分野表彰歴があり、かつ直近1か年度以内に県からの工事事故等による入札参加資格停止措置あり	-
	【今回 対象外】	過去に労働安全衛生分野表彰歴なし、かつ直近1か年度以内に県からの工事事故による入札参加資格停止措置あり	-
主要資材	県内での調達励行 【設定なし】	-	-
		-	-
品質管理			
環境配慮	I S O 認証取得の状況	I S O 9 0 0 0 S 並びに 1 4 0 0 1 取得済	1.0
		I S O 9 0 0 0 S 又は 1 4 0 0 1 取得済	0.5
		取得なし	0
技術所見	今回工事については、技術所見の評価は行いません	十分な記述があり、その内容も現場状況に即し具体的で、特に優れた工夫があると評価できるもの	-
		十分な記述があり、その内容も現場状況に即し具体的で、優れた工夫があると評価できるもの	-
		記述はされており、その内容が現場状況に即した標準的の工夫があると評価できるもの	-
		記述はされているが、その内容が現場状況に即した工夫が少なくあまり評価できないもの	-
		記述が少なく、その内容も現場状況に即しておらず、一般的で、工夫がなく評価できないもの	-

企業能力について

評価項目	評価内容	評価基準	評価点
工事成績評定点	直近3か年度以内に完成引き渡しの済んだ工事の工事成績評定点の平均点 (岐阜県発注工事のみ対象) (工種限定あり)	80点以上	2.0
		75点以上80点未満	1.0
		75点未満又は実績なし	0
同種(類似)工事施工実績	平成18年度以降申請期限日までに完成引き渡しの済んだ工事の施工実績の有無 (国及び岐阜県発注工事のみ対象) 工事成績評定点が65点未満のものは、実績として認めない。	同種工事の実績あり 建設業法で規定する土木一式工事で工事費5,900万円以上の施工実績(10割)	1.0
		類似工事の実績あり 建設業法で規定する土木一式工事で工事費4,400万円以上の施工実績(7.5割)	0.5
		上記実績なし	0
スタッフ数	常勤雇用の従業員数並びに国家資格を有する技術者数	常勤雇用の従業員数15名以上並びに国家資格を有する技術者数5名以上	1.5
		常勤雇用の従業員数10名以上並びに国家資格を有する技術者数5名以上	1.0
		常勤雇用の従業員数10名以上 又は 国家資格を有する技術者数5名以上	0.5
		常勤雇用の従業員数10名未満並びに国家資格を有する技術者数5名未満	0
優良工事施工者表彰歴	直近5か年度以内の岐阜県優良工事施工者表彰歴の有無(工種限定あり) (建築、電気、管、プラント電気設備及びプラント機械設備工事を除く)	部長表彰歴あり	1.0
		現地機関の長(公共建築課長、住宅課長、畜産振興課長、家畜防疫対策課長、里川振興課長、恵みの森づくり推進課長を含む)による表彰歴あり	0.5
		表彰歴なし	0
機械保有状況	当該工事に関する、主要建設機械の保有状況 【設定なし】	-	-
		-	-
		-	-
人材育成の取組	ぎふ建設人材育成リーディング企業への認定状況	ゴールド認定あり	2.0
		シルバー認定あり	1.5
		ブロンズ認定あり	1.0
		上記以外	0.0

配置予定技術者の能力について

評価項目	評価内容	評価基準	評価点
同種(類似)工事 施工実績	平成18年度以降申請期限日までに完成引き渡しの済んだ工事の施工実績の有無(国及び岐阜県発注工事のみ対象) (主任技術者、監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐又は現場代理人として従事した実績) 工事成績評定点が6.5点未満のものは、実績として認めない。	同種工事の実績あり 建設業法で規定する土木一式工事で工事費5,900万円以上の施工実績(10割)	1.0
		類似工事の実績あり 建設業法で規定する土木一式工事で工事費3,800万円以上の施工実績(6.5割)	0.5
		上記実績なし	0
保有資格	主任技術者、監理技術者、特例監理技術者の保有する資格	1級土木施工管理技士又は技術士又はME()、かつ自然工法管理士	1.5
		1級土木施工管理技士又は技術士又はME()	1.0
		2級土木施工管理技士かつ自然工法管理士	0.5
		上記以外	0
継続教育(CPD)の 取り組み状況	主任技術者、監理技術者、特例監理技術者の直近3か年度以内の各団体が発行するCPDの単位取得合計数 (単位=ユニット)	20単位以上の取得あり	0.5
		10単位以上の取得あり	0.25
		10単位未満の取得あり、又は取得なし	0

「ME」とは、岐阜大学工学部付属インフラマネジメント技術研究センターが運営する社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニットの短期集中カリキュラムの講義を受講し、ME認定試験に合格したものをいう

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による受講機会減少のため、継続教育(CPD)の対象期間を当面の間「2か年度以内」を「3か年度以内」とする。

地域要件について

評価項目	評価内容	評価基準	評価点
営業拠点	地域内での営業拠点の有無	各務原市内に本店あり	1.0
		上記以外	0
災害協定参加等	災害協定への参加や同等の活動実績の有無	岐阜県建設業広域BCMの設定あり	2.0
		岐阜県との協定(農政部、林政部、県土整備部、都市建設部との協定に限る)に参加あり又は直近5か年度のうちで同等の活動実績あり	1.0
		岐阜県との協定(農政部、林政部、県土整備部、都市建設部との協定を除く)又は岐阜県内市町村との協定に参加あり又は直近5か年度のうちで同等の活動実績あり	0.5
		参加なし又は活動実績なし	0
ボランティア活動	直近2か年度以内の活動の有無	各務原市内での実績あり	1.0
		流域浄水事務所管内(岐阜土木事務所管内で各務原市内を除く)での実績あり 1	0.75
		流域浄水事務所管内(上記の地域を除く)での実績あり 1	0.5
		流域浄水事務所管内での実績なし 1	0
近隣地域施工実績	平成28年度以降申請期限日までに完成引き渡しの済んだ近隣地域での施工実績 (国及び岐阜県発注工事のみ対象)	各務原市内での施工実績あり	1.0
		流域浄水事務所管内(岐阜土木事務所管内で各務原市内を除く)での施工実績あり 1	0.75
		流域浄水事務所管内(上記の地域を除く)での施工実績あり 1	0.5
		流域浄水事務所管内での施工実績なし 1	0
除雪業務等の 受託実績	直近2か年度以内の除排雪又は凍結防止剤散布業務受託実績の有無 協同組合との契約の際には、協同組合に対する加点とは別に、実業務を行う構成員にも加点することとする	岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内で、岐阜県管理道路の除排雪委託契約実績あり	2.0
		岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内以外で、岐阜県管理道路の除排雪委託契約実績あり	1.5
		岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内で、岐阜県管理以外の国道又は市町村道の除排雪委託契約実績あり	1.0
		岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内以外で、岐阜県管理以外の国道又は市町村道の除排雪委託契約実績あり	0.5
		岐阜県内での受託実績なし	0
休日及び夜間の道 路維持作業の実績	直近3か年度以内の岐阜県管理道路の道路維持業務(除排雪又は凍結防止剤散布業務を除く)、異常気象時の通行規制業務において、県からの作業指示を受け、休日または夜間に維持作業等を実施した実績の有無	岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内での実績あり(元請け)	1.0
		岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内以外での実績あり(元請け)	0.75
		岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内での実績あり(協力要請により下請けとして協力)	0.5
		岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内以外での実績あり(協力要請により下請けとして協力)	0.25
実績なし	0		
休日及び夜間の河 川・砂防の維持作 業の実績	直近3か年度以内の県管理の河川・砂防の維持管理業務において、県からの作業指示を受け、休日又は夜間に維持作業を実施した実績の有無	岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内での実績あり(元請け)	0.5
		岐阜土木事務所又は可茂土木事務所管内での実績あり(協力要請により下請けとして協力)	0.25
実績なし	0		
新分野活動	直近2か年度以内の新分野活動実績の有無(岐阜県内での活動に限る)	新分野活動実績あり	-
		新分野活動実績なし	-
県内企業の活用率	当該工事の県内企業の活用状況 (元請及び1次下請)	県内企業活用金額率90%以上かつ登録企業活用金額率が50%以上	1.5
		県内企業活用金額率90%以上かつ登録企業活用金額率が50%未満	1.0
		県内企業活用金額率50%以上かつ登録企業活用金額率が50%以上	0.75
		県内企業活用金額率50%以上かつ登録企業活用金額率が50%未満	0.5
		県内企業活用金額率50%未満	0.0

1 流域浄水事務所管内：岐阜市、美濃加茂市、各務原市、可児市、岐南町、笠松町、坂祝町、川辺町、八百津町、御嵩町
新型コロナウイルス感染拡大防止対策による受講機会減少のため、ボランティア活動の対象期間を当面の間「1か年度以内」を「2か年度以内」とする。

5 技術所見

本工事については、技術所見の評価は行いません。

6 落札者の決定

技術資料審査方法

- ・ 「総合評価落札方式に係る技術審査基準」に基づき評価する。
- ・ 加算点が明確に判断できない評価項目は最も低い評価とする
- ・ 配置予定技術者の能力は3名まで記載可とするが、2名以上記載の場合は最も低い加算点の技術者で評価する。
- ・ 共同企業体での入札参加者の場合は、特に断りのない限り代表構成員に係る実績等を評価する。
- ・ 入札執行後、評価値が最も高い者を落札候補者とし、確認資料により詳細を確認する。

評価値及び落札者の決定（簡易型 で入札参加者が7者、23.5点満点の例）

入 札 者	標準点	加算点				点数合計 + =	入札金額	評価値 / 1,000,000 ×	評価順位 (落札者)	
		施工 能力	企業 能力	技術 能力	地域 要件					計
A	100.00	3.50	2.50	1.00	4.00	11.00	111.00	75,600,000	1.46825	2
B	100.00	2.00	3.50	2.50	4.00	12.00	112.00	82,600,000	1.35593	6
C	100.00	1.00	3.50	0.50	4.00	9.00	109.00	80,173,000	1.35956	5
D	100.00	-1.50	3.00	2.00	3.00	6.50	106.50	73,550,000	1.44799	3
E	100.00	2.50	1.50	1.50	3.00	8.50	108.50	84,200,000	1.28860	7
F	100.00	0.00	4.00	1.00	4.00	9.00	109.00	80,146,000	1.36002	4
G	100.00	1.50	4.50	3.00	5.00	14.00	114.00	77,400,000	1.47287	1 (落札)

評価値について端数が生じた場合は、小数点第6位を四捨五入とする。

7 実施上の留意事項

責任の所在とペナルティ

受注者の責により、施工能力・企業能力・配置予定技術者の能力・地域要件及び技術提案書に記載した内容が履行されなかった場合は、入札参加資格停止・工事成績評定点の減点を行うものとする。